

事業概要	
営業キロ	約14.6km〔複線〕 ※全体計画における優先整備区間 JR宇都宮駅東口(宇都宮市)～本田技研北門(芳賀町) 自動車交通との併用区間 : 約9.4km LRVのみが走行する専用区間: 約5.1km
停留場数	19箇所(100%バリアフリー)
低床式車両(LRV)	17編成(3車体連接, 全長: 約30m)
事業方式	公設型上下分離方式
軌道運送事業者 (営業主体: 上)	宇都宮ライトレール株式会社(平成27年11月9日設立) ※宇都宮市, 芳賀町, 地元経済界, 交通事業者等が 出資する官民連携による新会社
軌道整備事業者 (整備主体: 下)	宇都宮市, 芳賀町
概算事業費	約458億円 (宇都宮市域: 約412億円, 芳賀町域: 約46億円)
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節機能の強化(トランジットセンターの整備等) バスネットワークの再編, 地域内交通の導入 ICカードの導入 など

運行計画	
運転時間帯	6時台～23時台
所要時間	約44分(快速電車の場合 約37～38分)
最高速度	40km/h
需要予測(平日)	約16,300人/日
ピーク時最大断面	1,885人/時・片方向
運行間隔	ピーク時 : 6分間隔(10本/時) オフピーク時: 10分間隔(6本/時)
運賃	初乗り150円～400円(対距離制)
運賃收受方法	ワンマン運転(交通ICカード主体)

LRVのイメージ写真



通勤時間帯の柳田大橋付近



宇都宮テクノポリスセンター地区
 面積: 177.2%
 計画人口: 1万3千人



栃木県グリーンスタジアム
 収容人員 約1万5千人



清原球場 収容人員 約3万人





清原工業団地

【総面積】387.6ヘクタール

【企業数】34社

【従業者数】約10,000人

【出荷額等】約1兆1,800億円

【特色】

内陸型の工業団地としては国内最大級、工場敷地区画が広く宇都宮テクノポリスの中心的工業団地として、高度技術に立脚した企業誘致が図られている。

【主な立地企業】

キヤノン(株)、カルビー(株)、中外製薬工業(株)、日本たばこ産業(株)、エム・イー・エム・シー(株)、清原住電(株)、大徳食品(株)、住友ベークライト(株)、デュボン(株)、マニー(株) ほか



芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地

【総面積】474.8ヘクタール

【企業数】102社

【従業者数】約22,000人

【出荷額等】約1,700億円

【特色】

芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地ともに、高度な技術を有する企業や、研究拠点などが立地し、「新栃木県産業集積活性化基本計画」において、特に重点的に企業立地を図るべき区域として指定されている。

【主な立地企業】

(株)本田技術研究所、本田技研工業(株)、ホンダエンジニアリング(株)、(株)ホンダテクノフォート、(株)オートテックジャパン、(株)リブドゥコーポレーション、ホンダ開発(株)、山王テック(株)、(株)ショーワ ほか